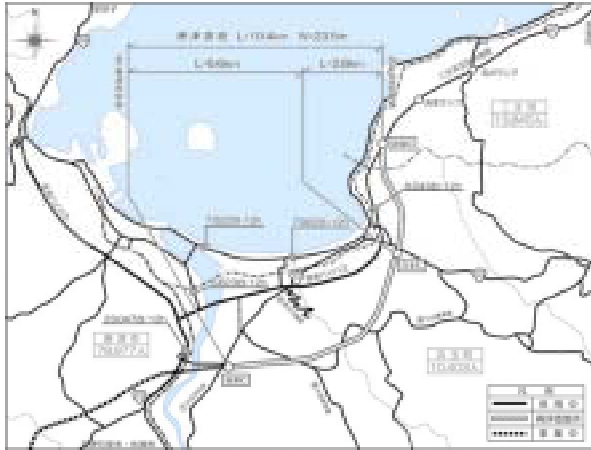


再評価結果（平成16年度 事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道497号（西九州自動車道） <small>からつどうろ</small> 唐津道路	事業区分	一般国道 （高規格B）	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：福岡県糸島郡二丈町鹿家 <small>ふくおかけんいとしまぐんにじょうまちしかか</small> 至：佐賀県唐津市中原 <small>さがけんからつしなかはら</small>	延長	10.4 km		
事業概要	西九州自動車道は、福岡市を起点として、唐津市、伊万里市、松浦市、佐世保市を經由して武雄市に至る延長約150kmの一般国道の自動車専用道路である。唐津道路は福岡前原道路、唐津伊万里道路などと共に西九州自動車道の一区間を構成し、広域的な交流を促進し、唐津市・浜玉町・二丈町のみならず九州北西部の地域経済の活性化、高速定時性の確保に大きく寄与する道路である。				
S63年度事業化	H3年度都市計画決定	H4年度用地着手	H7年度工事着手		
全体事業費	690億円	事業進捗率	63%	供用済延長	0.0 km
計画交通量	17,700～30,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.5 (残事業) 5.5	総費用： (残事業)/(事業全体) 200 / 754 億円 (事業費：157/711億円) (維持管理費：43/43億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 1,110 / 1,110 億円 (走行時間短縮便益：998/998億円) (走行費用減少便益：56/56億円) (交通事故減少便益：56/56億円)	基準年： 平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援(大都市圏への農水産物(呼子イカ、伊万里梨)の流通の利便性向上が見込まれる) 国土地域ネットワークの構築(生活圏中心都市(福岡市・唐津市)間の時間短縮が20%以上) 他5項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	福岡市、唐津市、伊万里市、松浦市、佐世保市等関係8市20町2村の首長及び議会議長で構成される西九州自動車道建設促進期成会より毎年早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成4年福岡前原道路の供用後に、東松浦郡の観光客が2.3倍に急増する他、平成13年福岡都市高速の福岡前原道路直結を契機に所要時間短縮と定時性向上に伴う高速道利用者数増加などが見られ、唐津道路整備による地域振興への期待が更に高まっている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成14年度末までの用地進捗率は83%に達している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成17年度に浜玉IC～唐津IC間の暫定供用を目途に、鹿家IC～浜玉IC間についても、引き続き整備を推進していく。				
施設の構造や工法の変更等	鋼橋の新技术利用，メンテナンスフリー材料の使用など、新技术の積極的活用，建設発生土の有効利用により着実なコスト縮減を図る。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性，重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。